

3. コミュニティソーシャルワークの実践を具体的にイメージするための提案

プログラムの目的

- ① 主任研修「地域援助技術に関する講義及び演習」の理解を深めるために、標準カリキュラム及びシラバスにあるプログラム順の工夫について考える。
- ② コミュニティワークを具体的にイメージするための事例提供の在り方について考える。
- ③ コミュニティワークを進めるにあたっての多職種協働の理解を深める講義のポイントを学ぶ。

(1) 「地域援助技術に関する講義及び演習」の展開方法 についての提案

<その1>

理論的な理解を深める講義と各技術を学ぶための講義・演習の間に、具体的なイメージをもつための事例紹介をしてはどうか。

- ① コミュニティソーシャルワークについての理論的な理解を深める講義を行う。
- ② コミュニティソーシャルワークの具体的実践をイメージできる事例を紹介する。
- ③ 事例を踏まえてその要素を分解していくように地域援助技術に関する講義及び演習を展開する。

(1) 「地域援助技術に関する講義及び演習」の展開方法 についての提案

<その2>

実際の支援の展開をイメージし、プログラムの順番を下記のように入れ替えてはどうか。

標準カリキュラム及びシラバスにおけるプログラム順
1. 地域援助技術の考え方と展開方法
2. 地域援助の具体的展開 (I II)
3. 多職種連携 (チームアプローチ) の考え方と展開方法
4. 基幹相談支援センターにおける地域連携
5. 地域共生社会の実現



提案するプログラム順
1. 地域援助技術の考え方と展開方法
2. <u>多職種連携 (チームアプローチ) の考え方と展開方法</u>
3. <u>地域援助の具体的展開 (I II)</u>
4. 基幹相談支援センターにおける地域連携
5. 地域共生社会の実現

(1) 「地域援助技術に関する講義及び演習」の展開方法 についての提案 ＜その1+その2＞

提案するプログラム順
1. 地域援助技術の考え方と展開方法
2. <u>多職種連携（チームアプローチ）の考え方と展開方法</u>
3. <u>地域援助の具体的展開（ⅠⅡ）</u>
4. 基幹相談支援センターにおける地域連携
5. 地域共生社会の実現

2. の冒頭で
事例を紹介する

理論的な理解を
深める

具体的なイメージを
持つ

多職種連携によるコミュニティ
ソーシャルワークの理解

協議会を活用したコミュニティ
ソーシャルワークの理解

基幹および特定における
主任の役割確認

障害分野にとどまらない
主任の基本姿勢の確認